様式第１号の１（第11条関係）

年　　月　　日

福島県立医科大学長　様

動物実験責任者

所属

職・氏名

**動物実験計画審査申請書**

　公立大学法人福島県立医科大学動物実験規程第11条の規定に基づき、下記について別添福島県立医科大学動物実験計画書（様式第１号の２）のとおり申請します。

記

|  |  |
| --- | --- |
| １. 研究課題 |  |
| ２．申請区分（申請項目を■） | □　新規申請□　変更申請　（承認番号：動第　　　　　　　　号）□ 継続申請　（前承認番号：動第　　　　　　　　号） |
| ３．変更箇所※１（変更の場合は、該当項目を■） | □　動物実験実施者　□　使用動物の系統、性別、数、入手先（苦痛度、手技・処置に変更がない場合のみ）□　組換えDNA実験計画の期間延長による実験実施期間の延長□　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 変更内容※２ | 変更事項 | 変更前 | 変更後 | 変更理由 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

※１　本項目以外の変更を行う場合は、変更申請ではなく新規申請とすること。

※２　継続申請の場合、継続前後の実験実施期間を記載すること。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 委員会事務局記載欄 | 受付番号 |  |
| 受理日 | 年　　月　　日 |

様式第１号の２（第11条関係）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　年　　月　　日

福島県立医科大学動物実験計画書

|  |  |
| --- | --- |
| 申請区分（選択項目を■） | □　新規□　変更（承認番号：動第　　　　　　　　号）* 継続（前承認番号：動第　　　　　　　　　号）
 |

|  |
| --- |
|  |
| 1.研究課題 |  |
|  |
| 2.研究組織 | 氏名 | ﾌﾘｶﾞﾅ | 所属(連絡先TEL) | 職名 | 関連法規等教育訓練年月日 |
| (1)動物実験責任者 |  |  | （　　　　） |  | 年　月　日 |
| （2)動物実験実施者（※動物実験責任者を除く） |  |  | （　　　　） |  | 年　月　日 |
|  |  | （　　　　） |  | 年　月　日　　　 |
|  |  | （　　　　） |  | 年　月　日 |
|  |  | （　　　　） |  | 年　月　日 |
|  |  | （　　　　） |  | 年　月　日 |
|  |  | （　　　　） |  | 年　月　日 |
|  |  | （　　　　） |  | 年　月　日 |
|  |  | （　　　　） |  | 年　月　日 |
|  |  | （　　　　） |  | 年　月　日 |
|  |
| 3.所属長氏名（ﾌﾘｶﾞﾅ） | 　　　　　　　　（　　　　　） |
|  |
| 4.実験実施期間 | 承　認　日 　　　～　 　　　年　　　　月　　　　日　（承認日を含め２年度まで、または組換えDNA実験実施期間のどちらか短い期間を限度とする） |
|  |
| 5.組換えDNA実験承認番号・期間（複数件該当の場合全て記入する） | 承認番号：　　　　年　　　月　　　日　　　～　　　　　年　　　　月　　　　日承認番号：　　　　年　　　月　　　日　　　～　　　　　年　　　　月　　　　日　　　　　　　　　　　　　 |
|  |
| 6.飼養保管施設及び実験室 | 飼養保管施設 | 施設名 | 実験室 | 実験室名 |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |
| 7.使用動物 | 動物種 | 系統 | 微生物学的品質 | 性別 | 匹数 | 入手先(生産企業名等) | 備考 |
| (1) |  |  |  |  |  |  |  |
| (2) |  |  |  |  |  |  |  |
| (3) |  |  |  |  |  |  |  |
| (4) |  |  |  |  |  |  |  |
| (5) |  |  |  |  |  |  |  |
| (6) |  |  |  |  |  |  |  |
| (7) |  |  |  |  |  |  |  |
| (8) |  |  |  |  |  |  |  |
|  |
| 8.動物実験の種類（選択項目を■） | □□□ | 1. 試験・研究2. 教育・訓練3. その他（　　　　　　　　　） |
|  |
| 9.動物実験を必要とする理由（選択項目を■） | □□□ | 1. 検討したが、動物実験に替わる手段がない2. 検討した代替手段の精度が不十分3. その他（　　　　　　　　　） |
|  |
| 10.実験計画 | 研究概要*（目的と想定される成果について明確に記入する。）* |
|  |
| 実験方法*（審査を適正に行うため「11.実験種別と主な実験処理」、「12.動物の受ける苦痛と苦痛の軽減の方法」等と整合性が取れるよう具体的に記入する。実験実施期間を2年度とする場合は、****年度ごとに動物の使用数とその算定根拠を明記する。****）* |
|  |
|  |
| 11.実験種別と主な実験処置*（「動物実験計画書記入手引き」による実験処置コード表参照）* | 動物種 | 動物への具体的処置 | 苦痛度(高い順に記入) | コード番号 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |
| 12.動物の受ける苦痛と苦痛の軽減方法 | 選択項目 | 動物種 |
| (1)想定される苦痛のカテゴリー(11に記入したもののうち一番高いものを■) | □ | E.無麻酔下の脊椎動物に、耐えうる限界に近いまたはそれ以上の痛みを与えると思われる実験 |  |
| □ | D.脊椎動物を用い、回避できない重度のストレスまたは痛みを伴うと思われる実験 |  |
| □ | C.脊椎動物を用い、動物に対して軽微なストレスまたは痛み（短時間持続するもの）を伴うと思われる実験 |  |
| □ | B.脊椎動物を用い、動物に対してほとんどあるいはまったく不快感を与えないと思われる実験 |  |
| (2)動物の苦痛軽減・排除方法(該当項目を全て■) | □ | ① 軽微な苦痛の範囲なので特に処置を講じない |  |
| □ | ② 短期間の保定・拘束なので特に問題はないと考える |  |
| □ | ③ 麻酔薬・鎮痛薬等を使用する（薬剤名・投与量・経路：　　　　　　　　　　　　）（薬剤名・投与量・経路：　　　　　　　　　　　　） |  |
| □ | ④ 科学上の目的を損なわない苦痛軽減方法は存在しない（理由：　　　） |  |
| □ | ⑤ 長時間の保定・拘束が避けられない（理由：　　　） |  |
| □ | ⑥ 人道的エンドポイントを適用する（エンドポイントの適用目安：　　　　　　　　　　） |  |
| □ | ⑦ その他（具体的に記入：　　　） |  |
| (3)安楽死の方法(該当項目を全て■) | □ | ① 麻酔薬等の使用（薬剤名・投与量・経路：　　　　　　　　　　　　）（薬剤名・投与量・経路：　　　　　　　　　　　　) |  |
| □ | ② 炭酸ガス |  |
| □ | ③ 中枢破壊 （具体的な方法：　　　　) |  |
| □ | ④ 安楽死させない 　　（理由：　　　　　　　　) |  |
|  |
| 13.安全管理上注意を要する実験(該当項目を全て■) | □ | （1） 放射性物質及び放射線を用いる実験 |
| □ | （2） 感染実験　（□BSL1　□BSL2） |
| □ | （3） 遺伝子組換え動物使用実験 （□P1A　□P2A）（ウイルスベクター接種　□有　□無　） |
| □ | （4） 発がん性物質、重金属、その他の危険物質の使用　　　（物質名：　　　　　　　） |
| □ | （5） 麻薬・覚醒剤使用実験　　（麻薬研究者免許取得者氏名：　　　　　　　　　　番号：　第　　　　　　　　号　） |
|  |
| 14.動物遺体の処理方法(選択項目を■) | □ | （1）本学が契約する廃棄物処理事業者に委託 |
| □ | （2）その他（具体的な方法：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
|  |
| 動物実験委員会記入欄 | 審査終了:　　　　　　　年　　　　月　　　　日 | 苦痛度カテゴリー：　　 |
| 審査意見 |
| 審査結果　□本実験計画は、本学動物実験規程に適合する。□本実験計画は、条件を付すことにより本学動物実験規程に適合する。（条件等：　　）□ 本実験計画は、本学動物実験規程に適合しない。動物実験委員会委員長　　 |
|  |
| 学長承認欄 | 承認日 | 年　　　　　月　　　　　日　 |
| 承認番号 | 動第　　　　　　　　　　　号 |